

各火山の活動及び予報警報事項

雌阿寒岳では、17日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。その他の予報警報事項に変更はありません。

雌阿寒岳〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

雌阿寒岳では、9～12日にかけて体に感じない程度の小さな火山性地震が増加し、16日には振幅が小さく継続時間がやや長い火山性微動が発生しました。さらに、17日10時05分頃から火山性の連続微動が発生したことから、火山活動がやや高まった状態となっており、火口周辺に影響する程度のごく小さな噴火の可能性があると、17日14時30分に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しました。

その後、18日及び28日から29日にポンマチネシリ96-1火口、同第4火口でごく小さな噴火が発生した他、これらの火口の噴煙活動がやや活発な状況で推移し、火山性微動も断続的に発生するなど、雌阿寒岳の火山活動は12月5日（期間外）現在も引き続きやや高まった状態が継続しています。

今後しばらくの間は、ごく小さな噴火を繰り返す可能性がありますので、ポンマチネシリ火口から500m程度の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では少量の降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

十勝岳〔噴火予報（平常）〕

GPS観測によると、2006年以降62-2火口付近では浅部の膨張を示すと考えられる局所的な地殻変動がみられており、2008年になっても継続しています。

火口付近の地震活動及び62-2火口等の噴煙活動や熱活動は低調に推移していることから、ただちに火口周辺に影響を及ぼすような噴火に結びつくとは考えていませんが、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

山頂火口原内の溶岩ドームのA火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いていると推定されます。溶岩ドーム及びその近傍では、火山ガスや火山灰噴出に対する警戒が必要です。また、2006年以降みられている溶岩ドーム付近浅部の膨張を示すと考えられる局所的な膨張が継続していると推定されます。

地震活動や噴煙活動は静穏で、広域の地殻変動も観測されておらず、ただちに火口周辺に影響を及ぼすような噴火に結びつくとは考えていませんが、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

倶多楽〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられません。

恵山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。